

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成27年7月分)

平成27年8月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢
 - (1) 国家レベル
 - (2) エンティティ、特別区
- ア スルプスカ共和国(RS)
- イ ブルチュコ特別区
2. 外政
 - (1) 多国間、国際機関
 - (2) 要人往来、国際会議等
3. 経済
 - (1) 経済指標
 - (2) 経済政策、公的事業
 - (3) 支援、援助
 - (4) 民間企業

(注: 以下は、現地紙など公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●スレブレニツァにおいて犠牲者追悼式典が実施(11日)

式典には、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長のほか、アギウス旧ユーゴ国際刑事裁判所(ICTY)所長、メロン「国際刑事裁判のためのメカニズム(MICT)」所長、チャヴシュオール・トルコ外相らが出席し、発言を行った。

同日、ドディックRS大統領は、犠牲者遺族の苦難に敬意を払うとしつつ、スレブレニツァにおいてジェノサイドが実行されたことは認めなかった。

●BH大統領評議会による安定化連合協定(SAA)調整交渉に関する報告書の採択、BH及びEUがSAA調整案に合意(15日及び18日)

15日、BH大統領評議会は特別会合を実施し、SAA調整交渉に関する報告書を採択した。これを受けて、18日、ウィゲマルク駐BH・EU代表及びティニャクBH・SAA調整交渉団代表は、SAA調整案へのイニシャルの記入を行った。後日、SAA調整案の署名及び批准に向けた手続が取られる。

●BH下院において公共放送システム(PBS)に関する法律改正案が否決(19日)

RS政党、クロアチア民主同盟BiH(HDZ・BiH)及びクロアチア民主同盟1990(HDZ199

0)の反対により、PBS法改正案は否決された。

同会合では、民主行動党(SDA)及び「より良き将来のための連合(SBB)」が提案したPBS法改正案に加え、HDZ・BiH及び独立社会民主主義者連合(SNSD)提案のPBS法改正案が審議されたが、同案も採択されなかった。

●ドディックSNSD党首及びイゼトベゴビッチSDA党首が、調整メカニズムに関する合意に到達(31日)

両党首はウイゲマルクEU代表の仲介により東サラエボのレストランで会合を行い、EU加盟に関する調整メカニズムの意思決定手続等について合意した。この合意を経て、同じく会合に参加していたズビズディッチBH閣僚評議会議長とノバリッチBH連邦首相は、これまでIMFによる新規融資の条件となりつつも署名を見送っていた趣意書(letter of intent)への署名を行い、IMFに送付した。同日中に、ハーン欧州近隣政策・拡大担当欧州委員が、同合意の成立を歓迎する旨を自身のTwitterで発言した。

(2)エンティティ、特別区

ア スルプスカ共和国(RS)

●RS国民議会(RSNA)が、RS内での国勢調査に関する法律案を採択(13日)

RSNAの会合では与野党を問わず、「13年のRSにおける人口、家計及びアパートに関する国勢調査結果の公表プロセスに関するRS法案」に賛成票を投じ、反対票は投じられなかったが、非セルビア系政党による「祖国」連合は議論のあと退席し、投票に参加しなかった。

同法案は、RS統計庁が、13年国勢調査の

RS領内における集計結果を独自に公表することを定めており、7日にRS政府が採択した。

●RSNAが「RSの日」に関する住民投票の実施を決議(15日)

RSNAは、1月9日を「RSの日」として祝うべきかをRS市民に問う住民投票を16年9月25日に実施すると定める決議を採択した。同決議案には、全てのセルビア系政党が賛成した一方、非セルビア系政党らによる「祖国」連合は議論の後に退席し、投票に参加しなかった。同連合は、この決議案に対して、RS民族評議会で「民族の死活的利益(VNI)」に基づく拒否権の申立てを行う意向を示した。

1月9日を「RSの日(共和国の日)」と定める「休日に関するRS法」については、BH憲法裁判所が違憲判決を下している。

●RS民族評議会のボシュニャク議員団が「RSの日」に関する住民投票決議及び国勢調査に関するRS法案に対してVNIに基づく拒否権を申立て(22日)

RS民族評議会ボシュニャク議員団は、RSNAによる「RSの日」に関する住民投票決議と、「13年のRSにおける人口、家計及びアパートに関する国勢調査結果の公表プロセスに関するRS法案」に対して、BHの法制度に反するとして、VNIに基づく拒否権の申立てを行った。

27日、同申立てについてRS民族評議会での意見調整が試みられたが失敗。これにより、本件の審議は、RSNA及びRS民族評議会の合同会合に付託されたが、28日に行われた同会合でも調整がかなわず、本件はRS憲法裁判所による審議に付託された。

イ ブルチュコ特別区

●ブルチュコ特別区議会において16年同特別区予算案の採択不成立(27日及び28日)

27日及び28日の会合では、複数の法案が採択されたが、現在暫定予算が執行されている16年度ブルチュコ特別区予算案は、協議されつつも採択手続は取られなかった。

2. 外政

(1) 多国間、国際機関

●BHへの新規融資を承認するIMF執行委員会の延期発表(7日)

パロディIMF・BH事務所長は、BH側からの趣意書への署名及び送付が行われていないため、7月15日に予定していたIMF執行委員会が延期されたことを伝えた。その後、ズビズディッチBH閣僚評議会議長及びノバリッチBH連邦首相が趣意書への署名を拒んだことが発表され、ツビヤノビッチRS首相からは遺憾の意が表明された。

7月15日のIMF執行委員会では、BHへの拡大信用供与措置(EFF)による新規融資を承認することが予定されていた。

●ワルシャワNATO首脳会合へのイゼトベゴビッチBH大統領評議会議長の参加(8日及び9日)

9日の会合での演説において、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長は、アフガニスタンでのNATO軍への協力について述べた。本会合において、BHの加盟前計画(MAP)発効に関する議論はなかった。

NATO首脳会合には、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長のほか、ペンデシュBH国防相、ツルナダクBH外相等がBHから出席し

た。

●ステチュツィ中世墓石群がユネスコ世界文化遺産に認定(17日)

認定されたステチュツィ(Stećci)中世墓石群は、BH、セルビア西部、モンテネグロ西部、クロアチア中央部及び南部にまたがる30箇所で見られる地域特有の中世(12世紀から16世紀)の墓石群。

ユネスコ世界遺産委員会は、10日から17日まで行われた会合の後、本件を含めて新たに21箇所を世界遺産として登録することを決定した。

●EU外相理事会の開催(18日)

BH国内では、同日のEU外相理事会において、BHのEU加盟申請に関する議論が行われることへの期待があったものの、本件は議題に設定されなかった。

(2) 要人往来、国際会議等

●フランス主催による西バルカン首脳会合がパリで開催される(4日)

同会合はオランド・フランス大統領が主催し、BHからはズビズディッチBH閣僚評議会議長が出席。ほかに、アルバニア、コソボ、マケドニア、モンテネグロ、セルビアの政府代表が参加したほか、クロアチア、スロベニア、ドイツ、イタリア、EUからも代表者が出席した。

同会合では、①EU加盟及び域内協力、②連結性(connectivity)と貿易、③若者、④移民及びテロ及び急進化との戦い、が主要な論点となった。

同会合の機会に、ズビズディッチBH閣僚評議会議長はメルケル・ドイツ首相と会談。ドイツによる農業分野における技術的及び財政

的支援や、BHの政治情勢について協議した。

同行したツルナダクBH外相は、エロー・フランス外務・国際開発相と会談を行った。ツルナダクBH外相は、今会合でトピックとなる若者の問題は、BHにおいて優先事項の一つであると伝えた。

●ズビズディッチBH閣僚評議会議長が「スレブレニツァ追悼の日」のためにロンドン訪問、ハモンド英外相と会談(11日)

ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、英国によるBHのEU・NATO加盟プロセスへの支援に謝意を伝えた。

ハモンド英外相は、BHによる改革アジェンダにおける義務の履行への期待を表明し、BHが英国の外交政策の優先事項の一つであることを伝えた。

●シュミット・ドイツ農相のBH訪問、BH大統領評議会及びズビズディッチBH閣僚評議会議長の会談(13日)

BH大統領評議会との会談の中で、シュミット農相は、今回訪問の目的は、SAAの調整後のEUにおける競争に備えるためにBH経済を支援するうえで、ドイツが具体的に何をすべきかを策定することにあると伝えた。イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長は、農家を直接支援するためのメカニズム設置の重要性を述べた。

ズビズディッチBH閣僚評議会議長との会談では、シュミット農相は、改革アジェンダの進行を称え、SAAへの署名を行う時期であると呼びかけた。

これらの会談後の記者会見において、シュミット・ドイツ農相は、安定化連合協定(SAA)の

調整案が採択されれば、ドイツ及びEUがBHの農業を支援することを伝えた。

●ツルナダクBH外相のキューバ訪問、ロドリゲス・キューバ外相、マルミエルカ・キューバ外国貿易・投資相等との会談(15日)

ツルナダクBH外相とロドリゲス・キューバ外相は、二国間関係の発展について協議した。ツルナダクBH外相は、両国間に懸案事項がないことを確認し、特に貿易分野において両国間の交流がより深まるべきと述べた。ツルナダクBH外相は、特に製薬及びバイオテクノロジー分野でキューバとの協力関係を深める希望を伝えた。

マルミエルカ・キューバ外国貿易・投資相との会談では、特に観光、農業及び製薬業分野における協力関係強化の可能性について協議が行われた。

●ツルナダクBH外相のカナダ訪問、ディオ・カナダ外相との会談(18日及び19日)

ツルナダクBH外相とディオ・カナダ外相との会談では、両国間の関係強化、特に、BH国民の査証取得手続きの簡易化及び両国における名誉領事の設置等が協議された。両外相は、様々な分野で合意の締結に向けた取組みを強化することに合意した。経済面では、協力関係発展の可能性が指摘され、BHにおけるビジネス環境の改善とカナダ市場におけるBH企業の存在感向上の必要性が合意された。

●ゴイコビッチ・セルビア議会議長のBH訪問、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長との会談(25日)

イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長は、

ゴイコビッチ・セルビア議会議長に対して、隣国との良好な二国間関係維持はBHの最優先事項であると伝えた。両国は、主権及び領土の一体性への尊重を基に、政治的関係の向上への取組継続を表明した。懸案事項は建設的な対話を通じて解決すべき点で一致した。

●ツルナダクBH外相のベオグラード訪問、ダチッチ・セルビア外相との会談(26日)

会談において、両外相は、オリンピック開催期間中のリオデジャネイロで、セルビア大使館がBH国民に対して領事業務及び保護業務を行うことについて合意した。

●ツルナダクBH外相のマルタ訪問、プレカ・マルタ大統領及びヴェツラ・マルタ外相と会談(27日)

ツルナダク外相は、今回の訪問が両国間関係の向上に寄与することへの期待を表明した。両国間の経済関係は低い水準にあり、かつ下降傾向にあることが指摘され、特に観光分野における協力の重要性が指摘された。

ツルナダク外相は、BHのEU加盟の意思を伝え、英国EU離脱に関する住民投票の後も、EU加盟プロセスに変化はないと伝えた。ヴェツラ・マルタ外相は、17年1月から6月まで、マルタがEU理事会議長国となり、BHのEU加盟プロセスを支援すると述べた。

3. 経済

(1) 経済指標

●雇用／失業者数

BH統計局の発表によると、16年5月のBH全体の雇用者数は724,833人。16年5月の失業者数は518,857人で失業率は41.

7%(前月比0.2%減)となった。

●平均給与

BH統計局の発表によると、16年5月のBHにおける平均給与は838KM(約428ユーロ)で、前月比15年5月との比較で名目1.0%増となった。

●消費者物価指数

BH統計局の発表によると、16年6月は、16年5月と比較して、消費者物価指数は平均で0.3%の減少。年間比較では、平均1.5%減少した。

●銀行部門

BH中央銀行によると、16年5月末時点でBH国内の銀行による融資総額は168億KM(約85億9,000万ユーロ)で、16年5月と比較して1.4%の上昇。国内銀行への預金総額は166億9,000万KM(約85億3,300万ユーロ)で、15年5月と比較して7.6%の上昇となった。

●貿易額

BH統計局の発表によると、16年1月から6月のBHの輸出額は45億1,160万KM(約23億700万ユーロ)、15年同時期と比較して2.9%増)、輸入額は77億100万KM(約39億3,700万ユーロ、15年同時期と比較して0.8%増)となった。

・輸出相手国上位5カ国(貿易額、16年1月から6月):①ドイツ(7億5,500万KM/約3億8,600万ユーロ)、②イタリア(5億7,470万KM/約2億9,380万ユーロ)、③クロアチア(4億7,640万KM/約2億4,360万ユーロ)、④オーストリア(3億6,680万KM/約1

億8,750万ユーロ)、⑤セルビア(3億4,510万KM/約1億7,640万ユーロ) 参考:日本(69万5,000KM/約35万5,000ユーロ)

・輸入相手国上位5カ国(貿易額、16年1月から6月):①ドイツ(9億6,880万KM/約4億9,530万ユーロ)、②イタリア(9億2,360万KM/約4億7,220万ユーロ)、③セルビア(8億6,890万KM/約4億4,430万ユーロ)、④クロアチア(7億1,930万KM/約3億6,780万ユーロ)、⑤中国(5億2,820万KM/約2億7,000万ユーロ) 参考:日本(4,555万KM/約2,330万ユーロ)

* 上記数値はいずれも原産国及び仕向国による算出。

●観光客数

BH統計局の発表によると、16年5月、BHにはのべ134,849人(うち日本からは930人)の観光客が訪れ、前月比で42.7%増、前年比12.9%増となった。

(2)経済政策、公的事業

●サラエボ空港が旅客ターミナルの新規建設を含む改修計画を策定(3日)

同空港の経営陣が採択した改修計画によると、近い将来、新規ターミナルの建設又は既存ターミナルの拡張を、費用を考慮して決定する。同計画では、VIPラウンジの設置、駐車場、オフィスビルの建設等から始まり、17年には滑走路及び誘導路の拡充を開始することが予定されている。

4年前、サラエボ空港の旧経営陣は改修計画を策定し、欧州復興開発銀行(EBRD)からの融資を確保していたが、利用客数が既存ターミナルの稼働能力内にあったため計画は中

止された。

●「RiTE Ugljevik」社と三菱日立パワーシステムズ社が、ウグレヴィツク火力発電所の排煙脱硫装置建設について契約書に署名(11日)

三菱日立パワーシステムズ社は、同建設事業の入札において、7,900万ユーロを応札して選出された。

建設される装置は、同火力発電所における二酸化硫黄排出量を99パーセント削減し、200ミリグラム/Nm³にすることを目標としている。建設事業は19年初旬に完了する予定で、建設資金について日本政府からの円借款を受ける。

●BH連邦政府がタバコ会社「Fabrika Duhana Sarajevo(FDS)」社の株式売却を発表(25日)

BH連邦政府は、保有するFDS社の株式39.9%(128万1,712株中51万1,478株)を売却することを発表した。

●BH閣僚評議会が17年から19年の公的投資計画を採択(28日)

公的投資計画には、計261事業、総額18億948万KM(約9億2,517万ユーロ)分の情報が記載された。その中で、社会経済的発展を目的とした事業には12億526万KM(6億1,623万ユーロ)が振り分けられた。

(3)支援、援助

●欧州復興開発銀行(EBRD)が洪水からの道路網復旧事業に最大6,500万ユーロの融資を発表(13日)

EBRDは、道路網の向上により、70%の貨物と90%の人的移動を陸送に頼っているBH

において、地元企業による製品の輸送や、サービスの向上や通行の安全に寄与すると伝えられた。融資はBH連邦道路公社に対して行われ、欧州投資銀行及び世界銀行も他の道路分野に対して並行的に融資を提供する。

マリッチ駐中国BH大使は、中国国営企業「CAMCE」社が、16年中にノビ・グラードにセメント工場を建設する予定があると述べた。同大使によると、本件の投資額は約8,000万ユーロに及ぶ。

●ブルチュコ特別区政府が同特別区の通関地の近代化を目的としてEBRDの融資を受けることを決定(25日)

(了)

EBRDからの融資額は1,000万ユーロで、既存の鉄道路線の移動及び更新等に利用される。同融資の条件は、返済期間15年、返済猶予期間3年、利率1%で、うち300万ユーロは贈与される。

●オランダ政府がビエリナ市の下水処理施設及び下水道設置を支援(26日)

26日、ベバダBH財務相とランメルツ駐BHオランダ臨時代理大使が、ビエリナ市下水処理施設及び下水道設置事業に関する650万ユーロの贈与協定に署名した。同事業では、9,237m³の容量を持つ下水処理施設が設置される。

(4)民間企業

●クウェート「Al Diyar Real Estate」社及び「Al Diyar Construction」社がサラエボ近郊に観光施設の建設を計画(19日)

同計画は、サラエボ近郊のイリジャ(Ilidza)を建設予定地としている。建設面積は65,000平方メートルで、滞在施設のほかに2,000平方メートルの湖を含む。

●ノビ・グラード(Novi Grad)に中国「CAMCE」社がセメント工場を建設予定(21日)